

ASPIRE フォーラム 2025 開催

東京科学大学が加盟している ASPIRE リーグの年次総会である「ASPIRE フォーラム」が香港科技大学主催により 7 月 7 日から 11 日まで香港科技大学メインキャンパスで開催されました。

ASPIRE リーグは、本学が発案し、2009 年に設立された科学技術の発展と人材の開発を通してアジアにおけるイノベーションのハブを形成することを目的とした、アジア地域における理工系トップ大学のコンソーシアムです。加盟大学は、清華大学（中国）、香港科技大学（中国）、南洋理工大学（シンガポール）、韓国科学技術院（韓国）と東京科学大学(旧 東京工業大学) の 5 大学で、本学は設立当初より事務局を務めています。

シンポジウム

7 月 10 日に ASPIRE シンポジウムが行われました。各加盟大学の研究者が今年のフォーラムのテーマ「Advancing Health & Medicine through AI & Technology」に関連した講演を行いました。

本学は、石川文彦教授（Visionary Initiative H1: “Vision of Total Health Design” Program Director）が、大学統合により行う VI の取組みを紹介し、AI 創薬、外科手術を AI やロボティクス、画像技術で革新する取組み、白血病を例に学際研究による治療への貢献について発表しました。IDEA リーグからデルフト工科大学 1 名のスピーカー含む 6 名の研究者による発表の後、Prof. Bertram SHI (Dept. of Electronic & Computer Engineering, HKUST) の司会によるパネルディスカッションが行われました。

副学長・シニアスタッフ会議

7 月 10 日午後には、各加盟大学の副学長およびシニアスタッフが出席する「副学長・シニアスタッフ会議」が行われ、議長 Tim Cheng 副学長（HKUST）と事務局長の林宣宏副学長（国際戦略・連携担当）により進行しました。ASPIRE リーグ加盟大学の各副学長より、各大学の最近の活動の紹介が行われ、本学からは森尾友宏 理事・副学長（国際担当）が大学統合と Visionary Initiative について紹介しました。本年がリーグ MOU 更新時期にあたり、協定更新案について承認、調印式を執り行いました。本学からは、6 月に開催した学士課程学生向けの交流プログラム「ASPIRE Undergraduate Engineering Design Challenge 2025 (UEDC2025)」について報告、その後、今後のリーグ活動についてのディスカッションを行いました。

その後、2025 年サイクルの ASPIRE League Partnership Seed Fund（ASPIRE リーグ加盟大学間共同研究のスタートアップ支援）に応募のあった提案書の審査が行われました。

会議後には、これまでに ASPIRE リーグパートナーシップシードファンドで支援を受けた共同研究プロジェクトのうち 9 件の研究成果報告セッションがオンラインで行われました。



ASPIRE Symposium panel session



MOU 調印式

学生ワークショップ

今年の学生ワークショップは、7月7日から7月11日、香港科技大学にて開催されました。今回は、ASPIRE リーグ加盟大学からの参加者に加えて姉妹リーグである欧州 IDEA リーグのデルフト工科大学（オランダ）の学生もあわせ 26 名の大学院生が参加しました。

本ワークショップは、“HKUST Entrepreneurship Bootcamp” と銘打たれており、AEARU（東アジア研究型大学協会）のメンバー大学にも開かれ、実施されました。（本学は AEARU のメンバーでもあり、AEARU の枠で 2 名の修士課程学生を本プログラムに派遣しました。）

最終日の 7 月 11 日（金）には、ASPIRE リーグ加盟校の各副学長およびシンポジウムスピーカーの前で、フォーラムテーマ “Advancing Health & Medicine through AI & Technology” に沿って行ったグループワークの成果を発表しました（ASPIRE リーグ枠で参加の学生のみ）。学生は大学混成の 4 チームに分かれ、人々の健康をサポートする、AI を使った以下の商品・サービスを発表しました。

- ① 小児の体温・心拍数などのバイタルを測定するテディベア
- ② 初期の認知症サポートを行う眼鏡
- ③ 高齢者の健康維持のためのフィットネス・トレーニングを提供するプラットフォーム
- ④ 高齢者の歩行パターンをモニタリング、分析し転倒を防ぐ靴のインソール

各チームがプレゼンテーションを行い、4 チーム中 3 チームが香港の高齢化社会を念頭においた商品を提案しました。5 日間という短期間で、マーケット調査を行い、ビジネスモデルを立案し、充実した内容の発表となり、各大学の副学長、シンポジウムスピーカーからは様々な質問やアドバイスが寄せられ、4 チームそれぞれに賞が贈られました。







ファイナルプレゼンテーション



Science Tokyo 森尾友宏 理事・副学長（国際担当）（右から6人目）、林宣宏副学長（国際戦略・連携担当）（左から3人目）、石川文彦教授（右から4人目）、国際課職員（右3名）、参加学生（上記記載以外の方々）

2026年の議長校については、南洋理工大学が務めることとなり、次回のASPIREリーグ行事開催日程は、南洋理工大学にて学部生向けプログラムを2026年6月22日～26日、ASPIRE Forumを2026年7月6日～10日に開催予定としています。